# 事業のタネシート

活動地域•団体名:瀬戸内市

### 事業名称1:地域主体のSDGsカードゲーム推進体制の構築

あらすじ

子ども達に地域課題や資源への気づきを与え、まちづくりへの当事者意識に繋げるSDGsカードゲームを地域主体で運営することで、この取組を持続可能なものとし、若者の社会参画を促進する。

#### ストーリー

総合計画と直結し、トレードオフを考えるSDGsカードゲームは、子ども達に地域課題や資源への気付きを与え、まちづくりへの当事者意識に繋げる取組である。現在は行政主導で行っているが、地域主体の運営体制を構築することで、この取組を持続可能にするとともに、取組の認知度の向上や、参画していただける企業・団体を増やすことで、この取組が子ども達の自慢となり、若者の社会参画によるまちづくりが推進され、将来の定住・関係人口につながる。

事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来	持続可能なまちづくり	・地域ファシリテーターの認定基準・子どもたちの変化の見える化・子どもたちの社会参画を支援する協力体制づくり
②課題	人口減少、少子高齢化、高校の存続	
③なぜこの事業をやるの か(Why)	人口減少と少子高齢化が進む中、地域全体でひとづくりを行い、子ども達がまち づくりの一員として活躍する地域をつくるため。	
④地域資源	企業、市民団体、行政、市民、大学生、カードゲーム、教育	
⑤商品・サービスの具体 的な内容 (What)	地域にカードゲームコーディネーターやファシリテーターを育成し、地域主体で事業 を継続できる体制を構築する。	
⑥担い手(Who)	企業、市民団体、行政、市民、大学生、 等	課題・ボトルネックを乗り越えるため に力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	子ども達のシビックプライドが醸成される ⇒ 将来の定住・関係人口の増加につながる ⇒ 地域の担い手が確保される ⇒ 地域経済の縮小を防ぐ	<ul><li>・教育委員会</li><li>・市民活動団体</li><li>・効果の見える化を検討するためのアドバイザー</li></ul>
⑧事業で生じる成果	若者の社会参画の促進 定住・関係人口の増加	

## 事業名称2:子ども達の課題(トレードオフ)解決アイデアの実現

#### あらすじ

SDGsカードゲームにより子ども達から提案されたアイデアを、市に関わるステークホルダーが共有し、それぞれの強みを活かして実現することで、新たな産業の創出による地域産業の活性化と持続可能なまちづくりにつなげる。

### ストーリー

トレードオフを考えるSDGsカードゲームにより子ども達から提案されたアイデアが実現することは、子ども達にとっての自慢になり、シビックプライドの醸成につながる。市に関わるステークホルダー(企業、市民団体、地域コミュニティ、行政等)がアイデアを共有し、それぞれの「強み」を活かして、可能な範囲で実現させることで、新たな産業の創出による地域産業の活性化や地域内経済循環、地域コミュニティの維持・活性化につなげ、ローカルSDGsの達成を図る。

事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来	市内経済の好循環、well-being	・子ども達から新たな産業創出につ ながるアイデアが提案されるかどうか
②課題	自然の維持、文化の継承、産業の活性化	・中小企業が異業種交流に積極的になってくれるかどうか ・事業化する際の行政からの支援 (補助金等)
③なぜこの事業をやるのか(Why)	トレードオフに対して子ども達の意見も取り入れた解決策を実践することで、若者の社会参画と、地域産業の活性化、ローカルSDGsの推進を図りたいため。	
④地域資源	自然環境、伝統文化、地域活動、市に関わるひと	
⑤商品・サービスの具体 的な内容 (What)	SDGsカードゲームで子ども達から提案のあった解決アイデアを市内のステーク ホルダーで共有し、地域資源を有効活用した事業化を検討する。	
⑥担い手(Who)	企業、金融、市民団体、市民、行政、子ども達 など	課題・ボトルネックを乗り越えるため に力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	新鮮なアイデアの提案 → 異業種の交流 → 新たな産業の創出 → 子ども達の自慢(社会参画意識)につながる → 地域経済の活性化にもつながる	・産業振興課 ・文化観光課 ・瀬戸内市商工会、農協、漁協 ・地域コミュニティ協議会
⑧事業で生じる成果	多世代・異業種による地域活性化 雇用・産業の創出・拡大	